

Indeed 透明性 レポート

2021年1月1日～6月30日

Indeed を利用する求職者と採用企業の保護を
通じて仕事探しを支援する方法をご紹介します



Indeed は世界No.1求人サイトとして、仕事探しの支援に尽力しています。¹ 仕事探しを迅速、容易かつ楽しいものにするサービスを提供するために、決断が必要なあらゆる場面で「**求職者にとって何が最善か**」を考えています。求職者を一番に考え、求職者に適した仕事をすばやく見つけられるようにする当社の方針は、採用企業にもメリットをもたらします。

Indeed は2億5,000万人のユニークビジターを持ち、それらのユーザーはキャリア構築またはビジネスの成長における重要な段階で Indeed に信頼を寄せています。² 本版の Indeed 透明性レポートでは、求職者と採用企業のプライバシーとセキュリティを保護するために Indeed が講じている方法をご紹介します。本レポートでは1月1日から6月30日までの、以下のトピックを中心とするデータを取り上げています。

セキュリティ..... 3ページ

信頼と安全性..... 6ページ

データのプライバシーと関連法..... 10ページ



セキュリティ

潜在的脅威から Indeed を防御する最前線にいるのがセキュリティチームです。製品チームと連携して Indeed サイトにアクセスする求職者と採用企業をさまざまな方法で保護します。以下はその一部です。

[ボットと不正リクエストの遮断](#)

[バグバウンティプログラム \(脆弱性報奨金プログラム\) の実施](#)

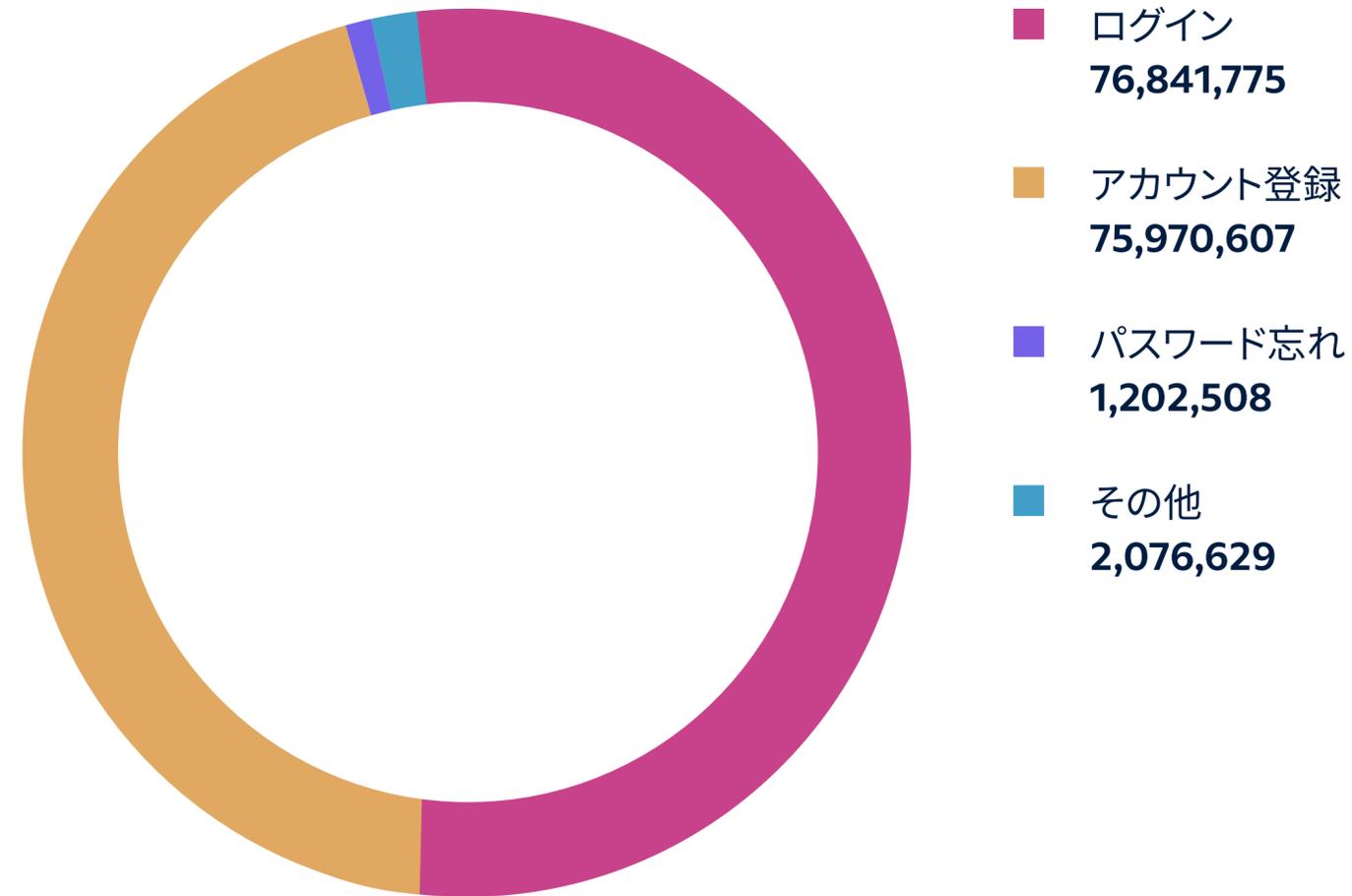
悪意あるトラフィックの遮断

セキュリティでは多層的な防御システムを利用して、悪意あるトラフィックによる Indeed へのアクセスを検知、軽減します。こうしたトラフィックは人による不正行為もありますが、主にボットによるものです。

悪質なボットとは個人データの搾取、偽アカウントの登録といった Indeed プラットフォームの悪用を可能にする自動化されたプログラムです。Indeed が実施する自動化戦略ではネットワークレピュテーション、異常検知、その他の機械学習ソリューションを活用して、実際のユーザーとボットを識別し、Indeed のプラットフォームに侵入する前にボットを遮断します。

不正リクエストとは人を標的としたネットワーク攻撃で、攻撃者は不正行為を働く目的でユーザーアカウントへの侵入を試みます。Indeed ではインターネットの大半の利用者は善意の持ち主であると考えていますが、そうでない人を遮断するため、テクノロジーを利用してシステムへのリクエストの送信元と意図を判断するよう努めています。

悪意あるトラフィックの遮断事例



バグバウンティプログラム(脆弱性報奨金プログラム)の実施

セキュリティに対する長期的な取り組みとして、Indeed は6年前から社内外でバグバウンティプログラム(脆弱性報奨金プログラム)を実施しています。このプログラムを通し、これまでに2,000人以上のリサーチャーに Indeed のシステム上のバグ発見にご協力いただき、報奨金として最大1万ドルをお支払いしています。

サードパーティのリサーチャーからのこうした情報をクラウドソーシングすることで、Indeed 社内のリソースを検出された脆弱性の解決に集中させることができます。

	公開	非公開	合計
ユニーク送信件数	493	36	529
検証・受理済み	55	15	70



信頼と安全性

顕著な不正行為や品質違反の事例から求職者と採用企業を守る役割を担っているのが、Indeed 防御の第2陣である信頼と安全性チームの自動または手動による

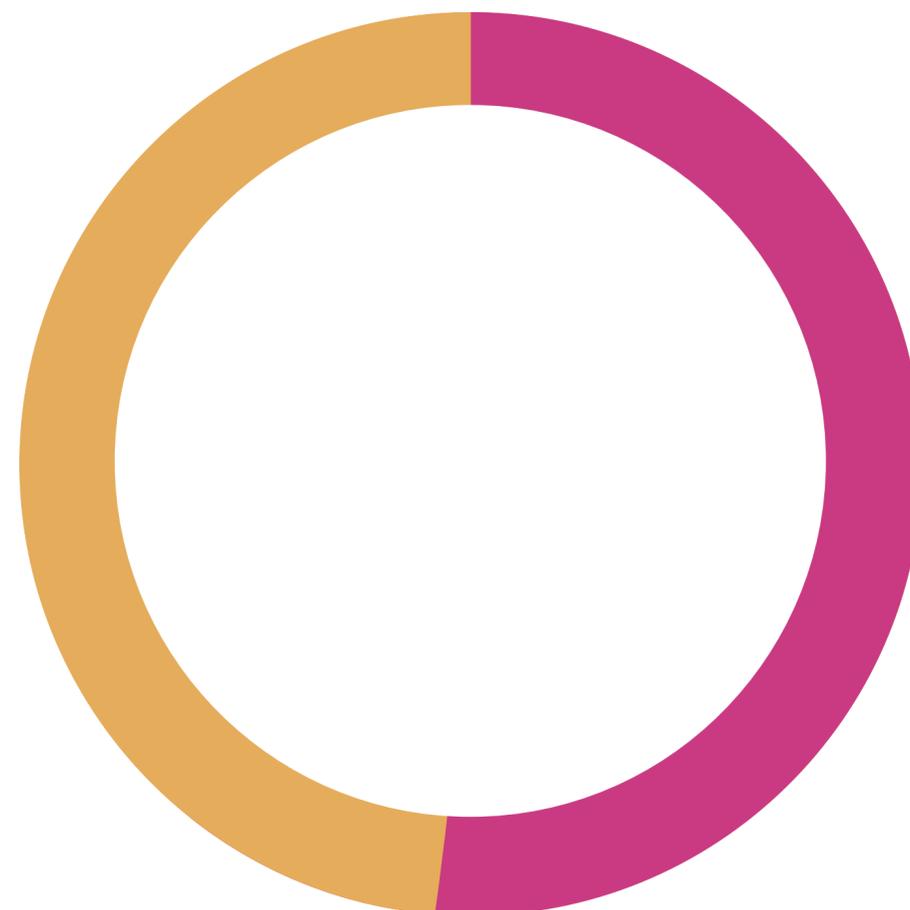
不正アカウントの特定と削除

問題がある求人の特定と削除

不正行為と品質違反の違いとは

Indeedは**不正行為**を求職者または採用企業を標的に、悪意のある行動や違法な活動を行うアカウントまたは求人掲載と定義しています。

Indeedは**品質違反**を Indeed の [ポリシー](#) または [ガイドライン](#) の違反が疑われるアカウントまたは求人と定義しています。



- 品質違反が原因で削除されたアカウント数
291,640
- 不正行為が原因で削除されたアカウント数
290,565



不正アカウントの特定と削除

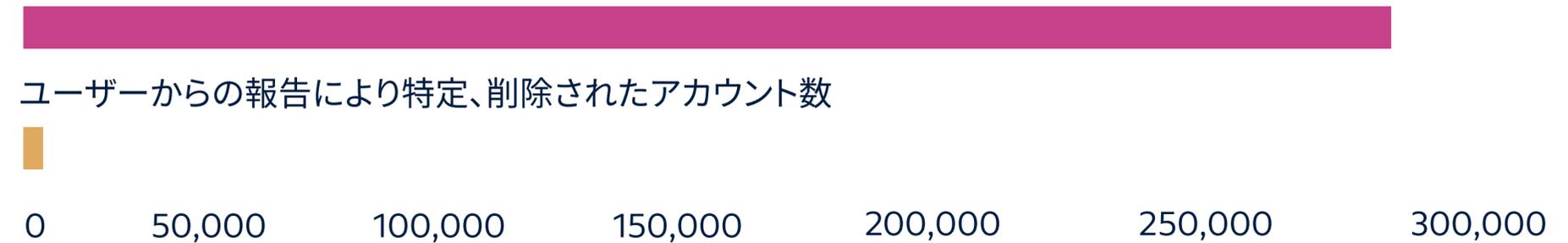
Indeed では自動および手動で、可能な限り早急に不正アカウントを特定し、Indeed サイトから削除しています。そのために、危険だと疑われるアカウントにフラグを付けて社内モデレーターの調査対象とするルールを定めています。さらに信頼と安全性チームが多様なツールと該当分野の専門知識を活用し、自動システムで発見されないリスクアカウントを未然に手動で特定します。

ユーザーも不正行為だと疑われるアカウントを特定、報告できます。これらは社内モデレーターが速やかに調査したうえで、[Indeed ポリシー](#)の違反が判明した場合は削除されます。

Indeed は不正アカウントを特定する上記の自動・手動手段を通じて、ユーザーへの影響を最小限に抑えることができます。特に求職者は悪質な採用企業と関わって自らをリスクにさらさずに済みます。

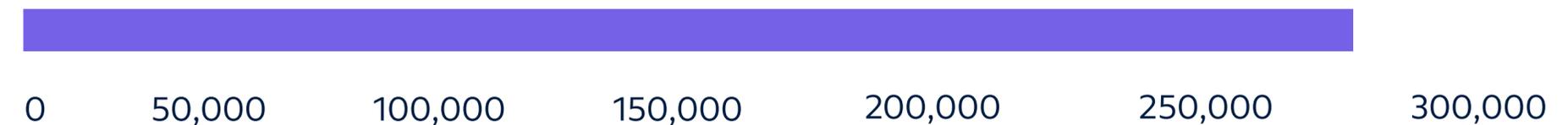
削除された不正アカウントの合計数

未然に特定、削除されたアカウント数



削除までの時間

4日以内に削除



問題がある求人掲載の特定と削除

Indeed はまた、求職者の利益を最優先に考え、Indeed サイトの求人掲載の内容の正確性に努めています。サイトへの掲載を維持するには、掲載情報が(トレーニング機会や期限切れの求人などではなく)募集中の求人であること、仕事内容を詳細かつ正確に説明していること、低俗または違法な内容を含まないこと、[こちら](#)に概説する他の条件を満たすことが必要となります。

不正アカウントについては、Indeed の基準を満たさない可能性があるため、モデレーターの確認が必要な求人を自動的にフラグ付けするトリガーを設定しています。修正可能な求人については、採用企業にフィードバックを伝え、[採用企業ヘルプセンター](#)で修正の手助けができることを伝えています。さらに、どの求人掲載の末尾にも[問題を報告]リンクが貼られており、ユーザーはそこから問題があると考える職務にフラグを付けることもできます。Indeed ではポリシーの実施状況を継続的に改善するため、これらの報告を役立てています。

求人ポリシー違反の上位カテゴリー

問題がある求人掲載(職種名が仕事内容と一致しないなど)

検索位置を改善するために掲載内容が操作されている

応募に関する不快な体験

所得情報が一貫していない

求職者に手数料を請求

0

100,000,000

200,000,000

データのプライバシーと関連法

Indeed のプライバシーチームはデータセキュリティを重視しています。詳細については、[こちらから](#) Indeed の指針的価値観をお読みください。同チームが求職者と採用企業を保護するために取り組んでいるさまざまな方法の中から、いくつかをここにご紹介します。

[データ主体の権利 \(DSR\) の要求の支援](#)

[政府機関と民間人・組織による要求の処理](#)

Indeed のプライバシーに関する価値観

Indeed では適切な仕事と候補者を見つけるサポートをする過程で、求職者と採用企業から寄せられる信頼を重く受けとめています。

この信頼に常に応えられるよう、利用者の個人情報の保護に多大なリソースを投じ、Indeed のプライバシーに関する価値観を貫いています。こうした価値観をいくつか以下に挙げます。

プライバシーバイデザイン

Indeed は新しいサービスまたはビジネスプロセスを開始する際、個人データの保護を重視し、そのためのシステムと実務が備わっているよう努めます。

プライバシーバイデフォルト

Indeed が個人情報 (PII) を処理するのはその特定の提供目的を達成するためです。言い換えれば、Indeed は利用者に対して以下の情報に関する透明性を保っています。

- + 収集する個人データ
- + 収集する理由
- + 処理方法

一貫性

Indeed は、包括的なプライバシー開示および Indeed が保有する個人データへのアクセスまたは削除に関する類似の権利を通じて、データプライバシーと保護を実施し、世界中のユーザーに一貫した透明性を提供しています。



データ主体の権利(DSR)の要求の支援

Indeed は一般データ保護規則(GDPR)やカリフォルニア州消費者プライバシー法(CCPA)などのプライバシー関連法に準拠して、個人データに関するユーザーからの要求に対応しています。こうしたデータ主体の権利要求は通常次の2つのカテゴリーに分類されます。

アクセス要求

ユーザーは Indeed サイトを訪問して、掲載されている自分の個人データの大半にアクセスできます。要求された場合、Indeed は要求者に関して保有する個人データを収集し、その個人がデータにアクセスできるレポートも作成します。

削除要求

Indeed は保有するユーザーの個人データを収集し、適用法に基づく一定の制限に従いこのデータを社内システムから削除します。これにより当該ユーザーの Indeed アカウントも閉鎖されます。

	合計
アクセス要求	6,334
削除要求	25,114

政府機関と民間人・組織による情報開示請求の処理

Indeed は各国の政府や法執行機関、および米国の民間人・組織からユーザーデータの情報開示請求を受けることがあります。

Indeed は現地法を遵守しつつユーザーのプライバシーを保護するために、データ保護法などの法律により義務付けられる場合のみ情報を提供します。

Indeed は政府諸機関、法執行機関、民間人・組織の請求に応じて情報を提供しない場合があります。たとえば、次のような場合が考えられます。

- + データ保護法に準拠しない場合
- + Indeed が内部システムでアカウントを正確に検索できる一意の識別子を提供しない場合
- + Indeed が要求されたユーザーアカウントの情報を持たない場合
- + 要求範囲が広すぎ、要求者と相談後も Indeed が範囲を絞り込めない場合
- + 要求者が要求を取り下げた場合
- + ユーザーの個人情報またはアカウント情報が求められた場合、Indeed がこれら情報の提出義務を法的に負わない場合
- + Indeed が収集していない情報を要求された場合

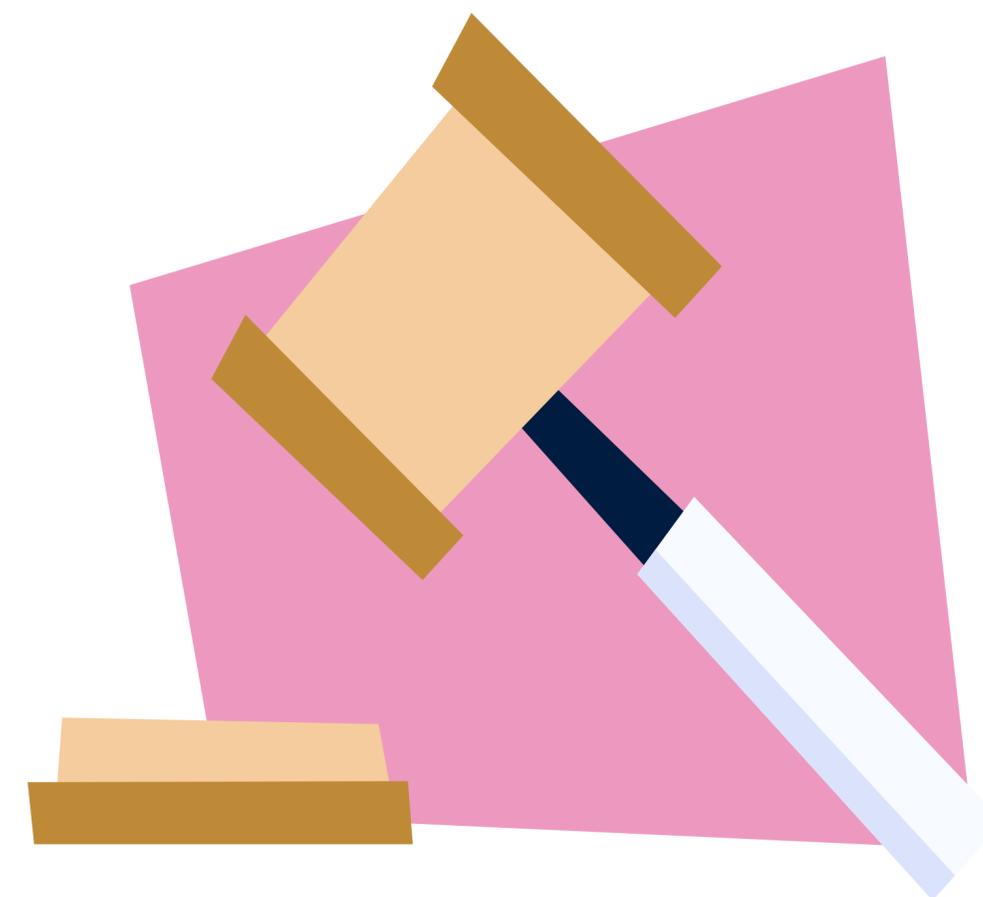
Indeed は裁判所の手続きを通じて、または要求者と直接交渉して、正式な要求を拒否する場合があります。

政府による請求の処理

政府と法執行機関の例にはアメリカ合衆国司法省、州労働者災害補償、警察などが挙げられます。請求形態としては、召喚状、裁判所命令、令状などが考えられます。

政府機関による Indeed の調査の結果、Indeed が報告書に記載していないユーザー情報を含む情報が提供されることがあります。個人のアカウント情報は Indeed に対する政府の情報請求の対象とならないため、ユーザーがこのような情報提供の影響を受けることはありません。

場所	召喚状	裁判所命令	令状	合計
アメリカ合衆国	68	1	4	73



政府による請求の処理（続き）

国別請求数

情報開示請求は、Indeed が事業を展開するあらゆる国から寄せられます。ただし、請求されたアカウント情報が別の場所にある場合、適切な場所に請求を転送する必要がある場合があります。次の表は請求が当初提出された国を表しています。

提供率

「提供率」とは Indeed が請求者にユーザー情報を提供した事例の割合を表します。

影響を受けたアカウント数

1件の請求で複数のアカウントの情報を求められる場合がありますが、表のデータには情報の一部が提供されたアカウント数も含まれています。提供された情報の種類と量は請求によって異なる場合があります。

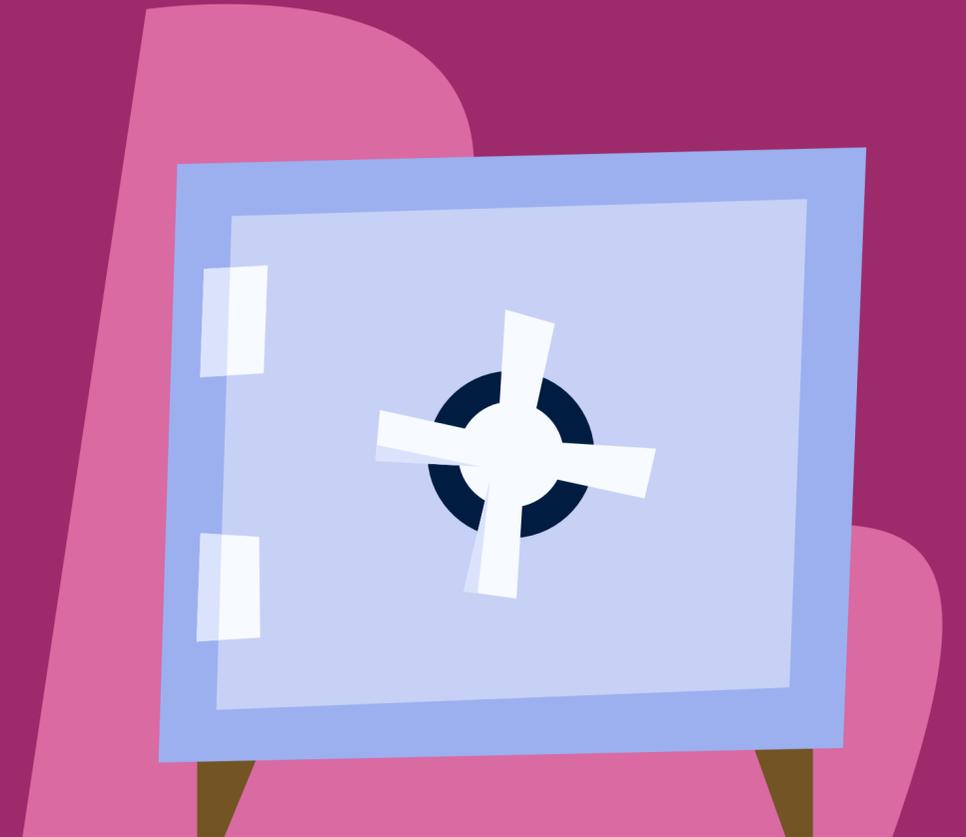
国	請求数	提供数	提供率	影響を受けたアカウント数
アメリカ合衆国	19	9	47%	79
日本	1	0	0%	0
アイルランド	1	0	0%	0
オーストラリア	1	1	100%	344
シンガポール	1	0	0%	0
スペイン	2	2	100%	2
イギリス	2	2	100%	2
インド	1	0	0%	0

民間人・組織による請求の処理（米国のみ）

Indeed では、政府または法執行機関以外の当事者による情報開示請求を民間人・組織による情報開示請求と定義付けています。例えば個人または民間組織である法律事務所が挙げられます。

米国にはユーザー情報を保護する法律が多数あります。求職者または採用企業の情報の提出要求を民事訴訟で第三者として求められた場合、Indeed はその要求を調査したうえで可能な場合は拒否し、法律で求められる場合は請求された情報のみを提供します。

場所	請求数	提供数	提供率	影響を受けたアカウント数
アメリカ合衆国	58	0	0%	0



その他のリソース

Indeed は仕事探しを支援するというミッションを日々実践するために、求職者と採用企業が職種と候補者を安全に検索できる環境の提供に努めています。

求人コンテンツの有効性と関連性、およびユーザーのセキュリティとプライバシーを保証するための Indeed の取り組みに関する詳細は、次のリソースをご覧ください。

- + [HR Tech プライバシーセンター](#)
- + [Cookie ポリシー、プライバシー規約、利用規約](#)
- + [求職者ヘルプセンター](#)
- + [採用企業ヘルプセンターを見る](#)
- + [Indeed のセキュリティ](#)



The image features the Indeed logo centered on a dark blue background. The logo consists of a white lowercase 'i' with a thin white arc above it, followed by the word 'indeed' in a lowercase, sans-serif font. The background is a solid dark blue with several large, overlapping, lighter blue abstract shapes that create a layered, organic effect.

indeed